

僕がいる  
救える心が  
ここにある  
保内中 河野 瑠衣

# さるびあ通信



## 189(いちはやく) 知らせて守る こどもの未来



[令和2年度児童虐待防止推進月間標語最優秀作品]

### 第2回八幡浜市いじめ対策委員会報告

11月26日(木)、八幡浜市役所保内庁舎において、第2回八幡浜市いじめ対策委員会を開催しました。

各ブロックからの活動状況報告では、今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、予定していた事業を中止したり縮小したりしたという報告が多くありましたが、コロナ禍の中にあって、子どもたちの笑顔に接したい、子どもたちの元気に関わりたいという地域の方々の思いが伝わってきました。



この会の中で、愛媛新聞の「門」欄に投稿されていた市内在住の永井佳栄さんの記事が紹介されました。八幡浜市ならではの、子どもたちと地域との関わりが感じられるニュースとして、心が温かくなります。以下に紹介します。

#### 中学生からの御幣に胸熱く

◇秋晴れの空が広がった先日の午後、自宅の郵便受けに御幣が投函されていることに気がついた。この御幣は毎年地方祭当日、地区の中学校の皆さんが牛鬼巡行の際に各家庭に配付してくれる縁起物で、地域に元気を届ける秋の風物詩だ。

◇しかし、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、牛鬼の巡行ができなかったようだ。一緒に投函されていた手紙には、手書きの牛鬼のイラストとともに「皆様の未来が明るくなりますよう祈っております。来年はよろしくお願いします」との文言が添えられていた。

◇新型コロナ禍の影響で数々の学校行事が中止や延期、縮小を余儀なくされている。そんな中、例年通り届けられた御幣には生徒の皆さんのさまざまな思いが込められているように感じられ、胸が熱くなった。「一日も早くこの事態が収束し、平穏な生活が取り戻せますように」。私は心の底から強く願いながら、頂いた御幣と手紙を大切に飾った。



～R2. 11. 10付愛媛新聞「門」欄から～

### ひとりで悩んでいませんか？

お気軽にご相談ください。

- ☆ 電話相談・来室相談（八幡浜市教育委員会教育支援室）  
☎ 0894-21-6864 月～金 8:30～17:00
- ☆ いじめ110番（八幡浜市教育委員会教育支援室）  
☎ 0120-805-415 月～金 8:30～17:00
- ☆ 警察安全相談（八幡浜警察署）  
☎ 0894-22-0110 24時間受付
- ☆ いじめ相談ダイヤル24（愛媛県教育委員会）  
☎ 0120-0-78310 24時間受付
- ☆ こどもの人権110番（法務局）  
☎ 0120-007-110 月～金 8:30～17:15
- ☆ 児童相談所全国共通ダイヤル（厚生労働省）  
☎ 189(いちはやく) 児童虐待通報電話 24時間受付
- ☆ こども電話「ひびき」（チャイルドライン ハートコール・えひめ）  
☎ 089-917-7797 5と0の付く日 16:00～21:00
- ☆ 18歳までのチャイルドライン（チャイルドライン支援センター）  
☎ 0120-99-7777 まいにち 16:00～21:00

### 令和2年度八幡浜愛顔ひろげるみんなの会議

夏休みの8月7日、ゆめみかんサブホールにおいて、八幡浜愛顔ひろげるみんなの会議を開催しました。この会議は3年に一度開催しているものです。市内すべての学校から児童生徒の代表者35名、市・ブロックのいじめ対策委員12名、計47名が出席して、いじめをなくすための取組について話し合いを深めました。



この会議に参加した中学生の感想を、以下に紹介します。

#### 「八幡浜愛顔ひろげるみんなの会議」に参加して

松柏中学校3年 吉川 羽奈

私はこの会議に参加して、松柏中学校人権サークル「プロGRESS」の存在意義について改めて考えました。

まずDVDを視聴しました。私はこの主人公が勇気を出して親友に「やめろ」と言うことができたのは、父の死があったからだと思いました。身近にいる家族が亡くなって、今まで自分には関係がないと思っていた「死」というものが身近になり、クラスメイトに「死ね」「消えろ」と言っていた親友が許せなかったのだと思います。

私は主人公の「消えていい人なんてこの世にはいないんだよ！」という言葉が心に響きました。この世には70億人の様々な人がいるけれど、一人一人の大切さはみんな同じで、消えていい人なんていません。「死ね、消えろ」と言われた側の人も、「自分は生きてはいけなかな…」と思い、自殺につながるかもしれません。言葉で死に追いやってしまう。言葉は恐ろしい凶器だと思いました。

次にいじめはどうして起こるのか、いじめのない学校にするためにはどうすればいいのか話し合いました。いじめが起こる理由として、私は優越感を得たいからだと思っていましたが、他の学校の人からは、いじめないと次に自分がターゲットになるからだという意見が出て、考えさせられました。



いじめがない学校づくりについては、自分たちの学校の取組を紹介し、情報交換を行いました。私もプロGRESSの活動について紹介しました。他の学校からは、みんなで遊ぶ機会を設けるなどが紹介され、新鮮でした。確か、小学校の時には「みんなで遊ぶ日」というのがあり、縦割り班で楽しく遊んだことがあります。私は中3ですが、まだ全く話をしたことのない人が数名います。私のような性格には、このような取組は最適だと思いました。

最後に、保健師さんの話を聞きました。SOS信号の出し方、受け止め方という内容でした。保健師さんには1学期に性教育の授業をしていただきました。今回の話を聞いて、私たちの心や体の不安に寄り添い、助言をしてくれる仕事をされている方だと思いました。

自分がつらくなったり、悲しくなったりした時にはどうするのか、反対に友達がつらくて悩んでいる時にはどうするのかを考えました。自分に何ができるのか、話を聞くことで、一人で抱え込んでいた不安が少しずつなくなり、気持ちが軽くなるのかなあと思いました。そして信頼できる大人と一緒に探ることが大切だと保健師さんの話の中で知りました。

私は今回の会議に参加して、プロGRESSのメンバーとしての心構えが一つステップアップしたと思いました。いじめがどうして起こるのかを把握し、SOSの出し方や受け止め方を具体的に学んだからです。けれど、学んだことを過去のものにしないで、実践をしないと意味がありません。私だからできることを実践し、学校に笑顔がたくさん生まれるように2学期から頑張ります。

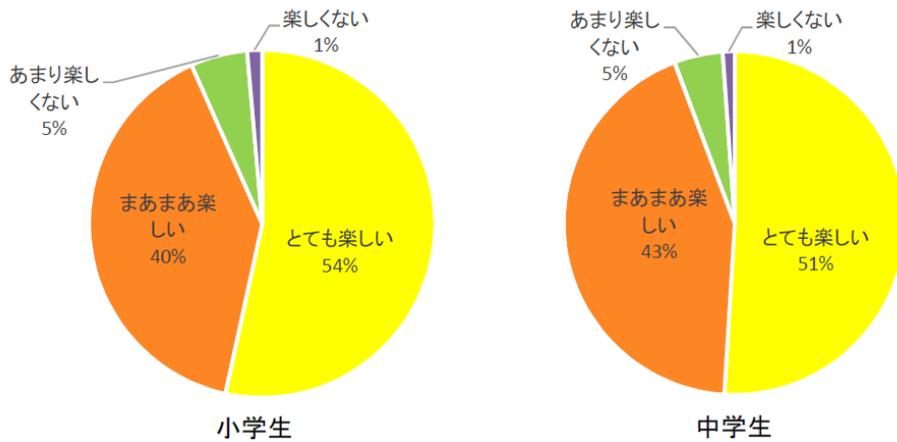


# 令和2年度 仲間づくり・学校生活アンケート

調査対象 小学3年生から中学3年生  
 調査回収 小学生：925名、中学生：716名  
 実施時期 令和2年9月

八幡浜市いじめ対策委員会では、いじめ問題の施策の一環として、小学校3年生以上の児童生徒を対象に、9月に仲間づくりアンケート（小学校）、学校生活アンケート（中学校）を実施しています。

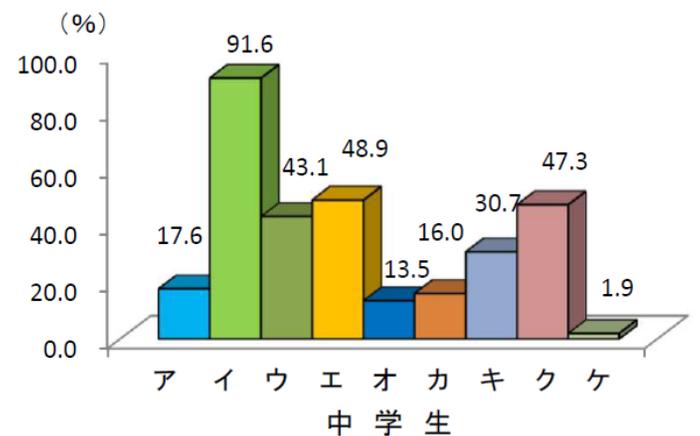
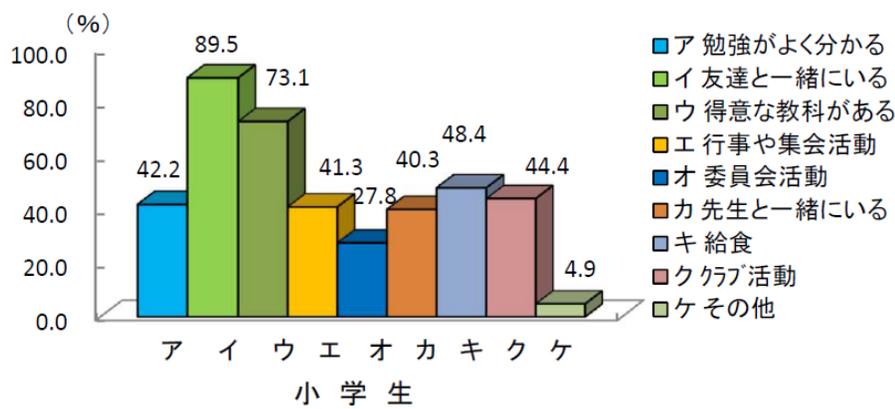
## 学校生活は楽しいですか



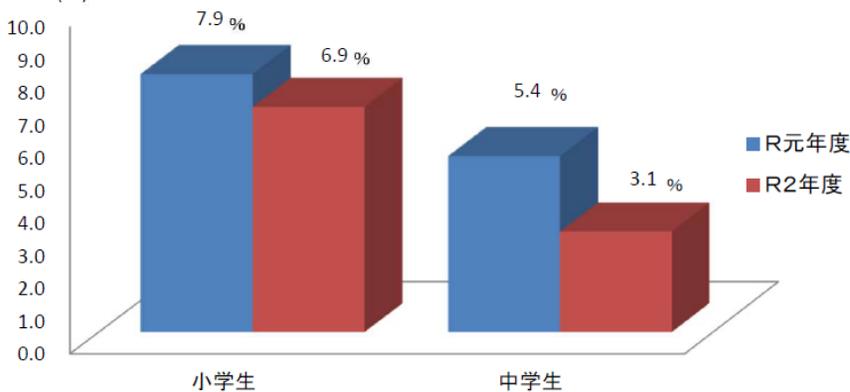
9割を超える小・中学生が、「学校生活がとても楽しい・まあまあ楽しい」と回答しています。これは、例年同じような傾向です。八幡浜市の小・中学生が概ね落ち着いた学校生活を送っていることを示している数字であると考えられます。

- 小・中学生とも、「学校が楽しいわけ」の第1位は「友達と一緒にいる」でした。
- 「勉強がよく分かる」「得意な教科がある」等の学習に関することも、学校生活を楽しく送る上で、重要です。
- 「先生と一緒にいる」ことを楽しみにしている小学生が増えています（R1:30.2%→R2:40.3%）。また、部活動を楽しみにしている中学生が増加しています。（R1:39.3%→R2:47.3%）クラブ・部活動、給食を楽しみにしている小・中学生も相当数います。

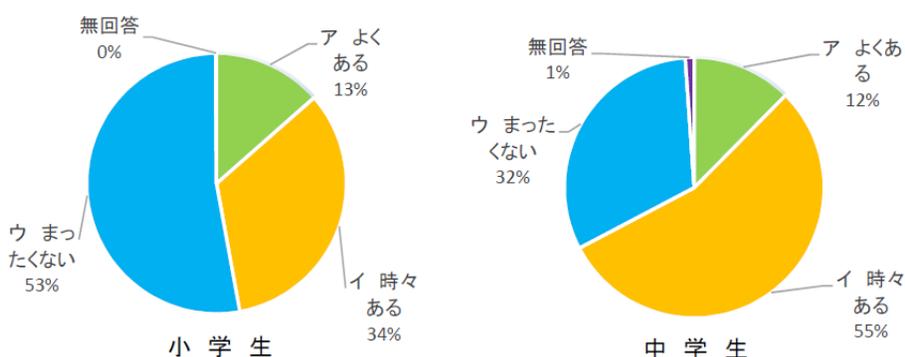
## 学校生活が楽しい理由を教えてください（複数選択）



## 4月から今までに、いじめられたと思ったことがあるか



## 新型コロナウイルスに関するテレビやネットをみて、気持ちがしんどくなることがありますか



昨年度と比較すると、「いじめられたことがある」と回答した割合は、小学生・中学生ともに減少しています。いじめがなくなっているわけではありません。これまで以上に、いじめの認知の感度を上げて、早期発見・早期対応を進めていくことも大切です。

活動的になる小学校3～5年生、新たな交友関係ができる中学校1年生に、いじめが多い傾向が見られました。発達段階に応じた重点的な指導も必要です。

誰にも相談できずに、一人で悩みを抱える小・中学生がいます。また、誰にも相談できずにいる小学生は、増加傾向にあります。悩みを抱えている子どもたちの声なきSOSを見逃さないようにアンテナを張り巡らせることが大切です。学校と家庭、地域との緊密な情報連携を一層進めていきましょう

「新型コロナウイルス感染症にかかわるテレビやネットの情報を見て、気持ちがしんどくなる」と回答したのは、小学校では47.1%、中学校では67.3%にも上りました。

様々な行動制限、先行きの不透明感（進学や校外行事等）、家族内での会話等の様々な要因が、児童生徒にストレスを与えていることが想像されます。今、コロナ禍の中での健全育成や家庭教育の在り方を考えていくことが求められます。